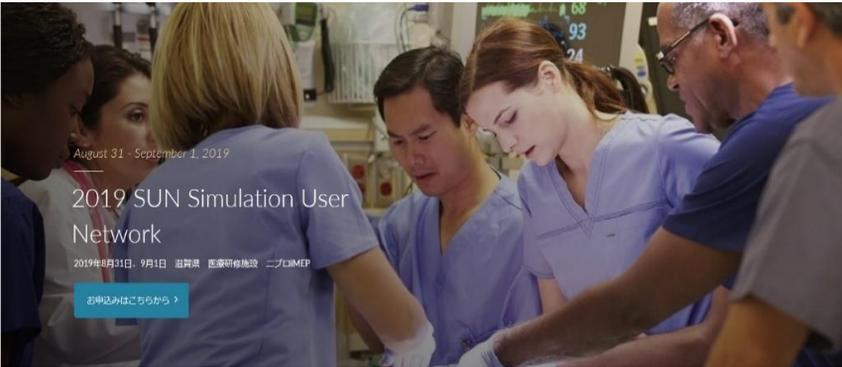




Laerdal
helping save lives



SUN SIMULATION
user™
NETWORK



2019 National SUN in Shigaのご案内

『臨床で活かす！—シミュレーション教育とその効果
～2020年からの新時代に向けて～』

7回目を迎える今年は、ニプロ株式会社様のご協力のもと、
医療研修施設ニプロiMEPにて開催いたします。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時： 2019. 8.31 (土) - 9.1 (日)

場所： 医療研修施設ニプロiMEP (滋賀県)

参加費： 10,000円 (税込)

対象： 医師、看護師、医療教育関係者

約150名

2019年は看護、薬学、災害、小児、救急、Quality of CPR、多職種連携と
いった多岐にわたるテーマでの、充実の分科会プログラムを予定しております。
詳細は裏面をご参照ください。

2019 National SUN申込ページ：

<http://laerdal.cvent.com/d/ybq41v/1Q>



共催 ニプロ株式会社
レールダルメディカルジャパン株式会社

時間	基調講演
13:10-13:50	蘇生ガイドラインと蘇生教育の標準化”病院内外の安全を確保するために” 静岡県立総合病院 野々木 宏先生
14:00-14:50	日本看護シミュレーションラーニング学会 (JaNSSL)主催指導者養成研修の紹介 東京医科大学 阿部 幸恵先生
15:00-15:50	JCI(Joint commission international)認証継続がもたらす効果 —患者安全と医療の質の改善を文化とする— 亀田総合病院 鈴木 真先生
16:00-17:00	基調講演 レジリエンスにフォーカスしたシミュレーション *逐次通訳あり Sahlgrenska University Hospital Torben Nordahl Amorøe MD
17:15-18:15	SimCaptureのご紹介 -- 次世代型ディブリーフィングツール *自由参加
18:15-19:45	情報交換会 *自由参加・軽食あり (事前登録制 定員:80名)

【9月1日】 早朝特別プログラム *自由参加 (事前登録制)

9:00-9:50	NIRPO iMEP見学ツアー	予算獲得のコツ: 予算申請時の成功事例などポイントと なった点の情報共有の場 東京医療保健大学 今泉 一哉 先生 瀬戸 僚馬 先生	Circle of Learning! (参加型) : レールダルの提唱するCircle of Learningと、 それに即したツールの位置づけを含めた、 『学びのフローの概要』のご紹介 レールダル伊藤文香、亀岡正二、平川善大
-----------	--------------------	-------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

分科会

分科会1	1-1	1-2	1-3	1-4
10:00-11:30	本学部における、シミュレーション教育のシステム構築のための組織の作り方 -- 全学部へのシミュレーション教育導入に向けた、0から1への取り組み	薬効および副作用の確認を可能にする薬学シミュレーション教育	授業へのナーシングアンシミュレータ導入とシミュレーションの評価方法について-新規導入への挑戦	実践に基づく災害トレーニング--シミュレータ活用法
	聖徳大学 水戸 美津子先生	九州保健福祉大学 徳永 仁先生	首都大学東京大学院 織井 優貴子先生	広島国際大学 安田 康晴先生
分科会 2	2-1	2-2	2-3	2-4
12:30-14:00	2018 AHA 蘇生教育への提言から院内教育への実践とその効果	周産期救急におけるシミュレーションと多職種連携	疾病救急初期診療の標準化を目指した多職種シミュレーション・コース "EMEC"の取組み	ワクワクのファシリテーションスキル☆ - 学習者の可能性を溢れ出させるコツ-
	獨協医科大学病院 菊地 研先生	りんくう 総合医療センター 前中 隆秀先生	大阪市立大学 医学部附属病院 羽川 直宏先生	京都大学 医学部附属病院 内藤 知佐子先生
分科会 3	3-1	3-2	3-3	3-4
14:30-16:00	医療安全事例からどのようにシミュレーションを用いるか	シミュレーション・振り返りを通じて小児蘇生を改善しよう	学習者が主体的に学び合うシミュレーション教育の開発を目指して~Peer-to-Peer Simulationの可能性~	V-sim (バーチャルシミュレーション) を活用した看護シミュレーション教育の可能性
	奈良県立病院機構 安宅 一晃先生	あいち小児保健 医療総合センター 池山 貴也先生	東北大学クリニカル・ スキルスラボ 荒田 悠太郎先生	福岡女学院看護大学 藤野 ユリ子先生